

ほくぶのうえん ほくぶひりょう
(有)北部農園 北部肥料

水田農業に光を！ 農村に活気を！



地元雇用、レタス収穫、種子島から全国へ出荷



7月初旬から収穫するレンコン



レタス育苗委託栽培

取組概要

- 種子島で、日本一出荷の早い「種子島産コシヒカリ」収穫後、8月から2月までの間借用。レタスを作付けし、今まで利用されていなかった農地を有効活用。
- 地元農家と連携し、レタス苗の委託育苗。農機具の有効利用と期間雇用を実施。
- 南種子町で、新たな農業生産法人化への取り組む。水田地帯でレタス・レンコン栽培を地元農家と共に、栽培技術を実証。

活動成果

- 水田農業の新たな展開が地域への刺激となり、若者が定着できる農業経営への兆しが出てきた。
- 現地職員として年間雇用(18～20人)を行うとともに、レタス・レンコンなど地元では考えられない品目の導入ができた。
- 企業としての参入するとともに、新たな農業展開の手段を示したことで、地元農家の間で、基盤整備事業の推進が前向きに動き始めた。

てんめい

天明環境保全隊

守り伝えよう地域の環境と文化 ～地域、学校教育、福祉との連携～



水源涵養 下草刈り



銭じゃこ太鼓の曳き回し



環境学習 炭焼き

取組概要

- 川や有明海の再生として、水源涵養林の育成、川に発生する水草の除去、緑川河口で葦原の野焼きや海浜清掃に取り組む。レンゲ作付けによる景観形成や水浄化等にも取り組む。
- 引き継ごう郷土の文化！をテーマに協議会を立ち上げ、漏れない節、あげたかな、どんどや、モグラうち等を伝承。
- 年10回程度、天明の全小・中学校で出前講座を開催。地域の歴史、干拓、産業についての講演会、体験学習を実施。

活動成果

- 人々が集う共同活動から様々な連携活動に発展してきた。
- 福祉事業所も清掃活動への参加や、米・野菜栽培にも取り組む。単一集落では難しくなっていた伝統行事等は地域連携で復活。さらに、行政や農漁民と連携し、花植えや野焼きも実施している。
- 天明から呼びかけた緑川の清掃は、今では流域住民2万人が参加する一大イベントに発展。都市部と地元小学校が田んぼの学校を開催し、交流している。

天明環境保全隊

熊本県熊本市南区奥古閑町1863-5

Tel :096-223-2226 Fax :096-223-5606

NPO法人 くまもと障がい者就労支援ネットワーク

「やさいってこうやってできるんだ！」わたしたちの農業体験記



里芋の収穫にチャレンジする子どもたち



里芋の収穫についての説明



里芋の収穫についての説明

取組概要

- 農家所有の畑を借用して、農業者や地域の方の指導を頂きながら、当法人の事業所で働く方々、利用している子どもたちを中心に作物を栽培。
- 作物が育っていく喜びを感じ、収穫の楽しさを体験。児童支援事業所「ひみつきち」では、療育・食育プログラムに農作業を取り入れ、日常的に取り組む。
- 障がいを抱えながらも生き活きと暮らす関係者の会「シェアハート」のみなさんに、畑で収穫した野菜で調理実習。

活動成果

- このプロジェクトの一番の効果は、笑顔が沢山見られたこと。農業指導者の丁寧な準備、打合せにより、参加者たちは農を楽しみ、人と出会い、交流することができた。
- 障がいを持つ子どもも大人も、また一緒に働くメンバーも栽培を通して、作業の大変さや楽しみ、収穫の達成感等を感じている。
- 農業体験は、参加者それぞれの自信につながり、自立のあしがりとなった。

やつしろ菜の花ファーム987

日本文化い草(畳)と菜の花プロジェクト



菜の花ウォーク



小学校菜の花米の田植え



菜の花米稲刈り体験

取組概要

- 本業「い草」を主な経営とし、菜の花から始まる循環型環境農業や農商工連携により、菜の花蜂蜜等の商品販売や菜種油を抽出。
- 菜種の油粕を利用した自家製有機肥料を田に施し、除草剤を使わず「菜の花米」を生産。「菜の花米」で地酒や玄米黒酢、飲む黒酢等を商品化。
- 菜の花畑での農業体験、菜の花畑オーナー制度、菜の花ウォーク等を実施し、農業後継者づくりのための食育を推進。

活動成果

- 菜の花ウォークイベントは、平成27年から九州国際スリーディマーチの一つとして、やつしろマーチングリーグに認定。
- 地酒づくりがテレビ番組に取り上げられ、熊本五つ星企画で一年間酒づくり番組として進行中。くまもと里もんプロジェクトのモデル事業になっている。
- 視察・研修団が年間150～200名。テレビ・ラジオ・雑誌・新聞などの取材も多く、農作業の合間を見て対応している。

ごかのしょう

五家荘宿の会

五家荘の宝を地域の誇りへ



ボリューム感の確認試作



すべての料理を真空包装して販売



新商品試作

取組概要

- 宿の料理は煮しめ、ジビエ、山菜を中心に各宿で伝承されてきた味付で調理。おせち料理を作る共通目的、それらのレシピを共有し、若い世代へ継承。
- 料理24品目中19品目の材料が地区内の山の幸を採用。販売方法は宿泊客が料理を気に入ったとき、宿に設置されたポスター、チラシをみて申し込む。
- 参画頂くお年寄りが、それぞれの得意分野で活躍し、生きがいとなっている。

活動成果

- 民宿のお母さん同士の会話が増えたことで、おせちについての情報交換だけではなく、ランチや宿泊の価格設定や、後継者問題等も話し合うようになった。
- おせち料理をアレンジして、宿の特徴を出した料理等も独自で開発されている。
- 加工では、若者・高齢者ともに雇用することで、忙しい時期でも快く参加してもらっている。衛生管理も、従事する作業員がお互いに切磋琢磨している。

五家荘地域振興会(事務局)、商品開発担当: 中村
熊本県八代市泉町椎原148

Tel : 0965-67-5888 Fax : 同左

みなまたしくぎの

水俣市久木野地域振興会

日本一の棚田(自称)のむらづくり



棚田景観を楽しむ棚田のあかり



森づくり・萌芽した木の間に
苗を植えるボランティア
水源の森づくり



石垣積み教室
地元のパネラーが先生役
伝統技術 石垣積み教室

取組概要

- 寒川地区の棚田(約30ha)は、全国棚田百選に選定されている。
- 森と棚田を守る山村の存在意義への理解を増やし、山村の応援団を育てることを目的とし、そうめん流し、加工品の製造販売、各種手作り体験、環境教育、棚田コンサート、しし鍋マラソン大会等のイベント活動を展開。
- イベント活動には、ボランティアを積極的に受け入れ、「環境首都みなまた」としてのイメージを深化・発信。

活動成果

- 在来品種の香り米「万石」を商品化し、年間約200kgを販売。愛林館では、農産加工品の売上が年間約500万円あり、研修や体験には全国から(外国含む)年間1,000人を超える来客がある。
- 棚田は、テレビや新聞等の情報発信を通じて県内では有名な場所になった。Iターン者の定住も6名。
- 寒川水源清流を活用したそうめん流しの実施など、年間1万人を超える人が集まるコミュニティビジネスとなっている。

久木野地域振興会

熊本県水俣市久木野1071番地の4

Tel :0966-69-0485 Fax :同左

すいげんむら

NPO法人きらり水源村

廃校を活用した地域住民による都市農村交流



原井手下りアドベンチャー「イデベンチャー」



水源食の文化祭



水源交流館外観

取組概要

- H16年10月にグリーンツーリズムの拠点「きくちふるさと交流館」、さらに運営母体となるNPO法人を地域住民主体で設立。
- 「学校から楽校」を合言葉に住民により廃校を活用。古い木造校舎を一部改装し、宿泊施設やレストランとして整備。
- 自然農業体験、郷土料理の提供、新たな加工品づくり、新規就農者の育成、高齢者向け宅配弁当サービスなど、地域のニーズを踏まえた幅広い活動を展開。

活動成果

- 地域住民がいろいろな立場で参加することにより、地域全体での結びつきが強まった。交流活動を通じ住民が地域に誇りを持てるようになった。
- 活動により報酬を得た地域住民の延べ人数は300人に及び、Uターン1名、Iターン1名の雇用もあり、地域活性化に貢献している。
- 本年度は農業用水路を活用した井手下りや里山の風景を楽しむフットパスなどをグリーンツーリズムの取組として実施。

おいだけ
老岳集落

小さな農村のみんなで作る！住民総活躍地域



彼岸花ウォーキング



田んぼアート



農産物販売

取組概要

- 平成23年度から彼岸花と郷土料理を楽しむ「山菜と彼岸花の里ウォーキングと秋の味覚祭」を。平成27年度からは「田んぼアート」に取り組んでいる。
- 所得向上に繋がる取組として、イベント時のみならず地元物産館で販売すべく、農産物の種類を増やすとともに、惣菜や漬物、味噌等を製造するため加工施設を整備。
- 活動は、地域のつながりを大切にし、住民一丸となって取り組んでいる。

活動成果

- 来訪者が年々増え、地域住民の活動意欲も高まった。奉仕的な活動から所得向上の取組へと、活動内容が徐々に進化してきている。
- 具体的には、根菜類の生産や山菜の加工・販売、郷土料理の惣菜、漬物加工、シキミ栽培、学校給食へ納入等である。
- 農村景観向上への新たな取組として、「リアルかかし」の設置などにより、活動による収入も得られ、生涯現役の地域づくりを目指した活動が展開されている。

あそ 公益財団法人 阿蘇グリーンストック

阿蘇への恩返し



輪地切り作業



野焼き支援ボランティア活動



野焼き支援ボランティア活動

取組概要

- 1995年発足以来、草原保全に向けて活動。その一つとして市民ボランティアによる野焼き・輪地切り支援活動は、阿蘇千年の草原の歴史の中でも初めての取組として、都市と農村さらに行政が連携し、広大な草原を守っている。
- 九州を始めとして全国から野焼き支援ボランティアを募り、研修会を開催。
- 活動人数は年々増加しており、2014年度は56牧野で延べ約2,000名のボランティアが支援活動。会員数は740名超。

活動成果

- 支援活動を継続すると共に、野焼きの減少に歯止めをかけて、阿蘇の環境保全と再生に寄与。牧野面積は約5000ha、阿蘇の焼き面積の4分の1以上。
- 環境省とも連携し、草原を再生。国立公園の草原景観と希少動物の維持保全に大きく貢献している。
- マスコミに取り上げられる機会も多くなり、学生や地元の人達の参加も少しずつ増加。地元でも草原保全の意識が高まってきている。

公益財団法人 阿蘇グリーンストック(公益事業課)

熊本県阿蘇市小里656-1

Tel :0967-32-3500 Fax : 同左

こうし 一般社団法人 合志農業活力基金

「志を合わせて地域を元気に！」合志農業活力プロジェクト



東京都内での合志ジュースの販売



新品種(WE米)を使った加工品



新規就農検討者向けの研修会

取組概要

- 合志市・熊本製粉・自然電力グループが、合志市内で運営する太陽光発電所の売電収益の一部を地域に還元するプロジェクトで、平成26年度からスタート。
- 地域の農業基盤を維持する「守りの農業」として、排水路、調整池等の維持管理・修繕作業へ助成。
- 新規性の高い取組やアイデアを助成する「攻めの農業」として、農産物販路拡大、バイオガス発電調査事業、新品種育成等へ助成・支援。

活動成果

- 「守りの農業」においては、農業水利施設等の維持管理を適切に行うことで、農業生産性の向上・農業総生産の増大につながっている。
- 「攻めの農業」においては、新規性の高いアイデアによって、新たな販路の開拓や魅力創造の基盤を作ることができた。
- 新規就農希望者への支援など、人的資源も掘り起こし、農業の面からイノベーションを起こしていく気運を高めている。

こうし
「合志あぐっと！村」運営協議会

都市と農村の交流による魅力発信活動
（「なんもなか！」それが農村の隠れた魅力！）



稲刈り体験



そば打ち体験



農業シンポジウム 講演：落語家

取組概要

- 都市部の消費者に、野菜の種まきや収穫、搾乳体験、鶏卵拾いなどの農業体験を行うとともに、地元食材を使った料理を食べたり、家畜と触れ合うことを通じて都市農村の交流を推進。
- 未来農業塾と称して農業シンポジウムを開催し、観光農園経営者やイタリア料理のシェフ、落語家など、多彩なゲストの講演等で「食」と「農」の魅力を発信。
- 地元農家がSNSを活用して取組を情報発信し、後継者育成や就業機会を促進。

活動成果

- 活動状況等は映像コンテンツやSNS等で情報発信し、農村の隠れた魅力をPR。イベント開催に対する問合せも増えてきている。
- 農村での日常の体験が、都市部の人々が非日常を体験できる良い機会となっており、農業・農村に対するイメージアップに繋がっている。
- 農家が中心となって、小学生の農業体験を指導。小学生に限らず、幼稚園や保育園でも農業体験の希望が増加してきている。

「合志あぐっと！村」運営協議会（合志市役所企画課内）

熊本県合志市竹迫2140

Tel :096-248-1813 Fax :096-248-1196

みずかみさこ

水上迫生活研究グループ

スコップの音と共に、集落一丸の地域活動



なべぶた楽団(楽器はスコップ、鍋ぶた、フライパン、栓抜き)



地元小学生に出前伝承料理講座



フットパスでの軽トラカフェ

取組概要

- 水上・迫の2集落の農家の嫁が主体となり農村女性15名で「水上迫生活改善グループ」を結成し、農村の生活改善活動を開始。
- 味噌加工、手作りほうき、ごきぶり団子、防火訓練呼び掛け、黒ゴマ栽培、唐がらし酢の加工、高齢者用昼食の提供、小学校での料理教室等を実施。
- 「なべぶた劇団」、「親子里芋堀りと団子汁体験」、フットパス受入時の縁側カフェ、軽トラカフェや、ひまわり植栽等で交流。

活動成果

- 35年間続けたことが、中山間地域のグループ活動として、他地区の参考事例となっている。地域での高齢者サービス、世代間交流活動などが、地域住民に受け入れられ、協力者も多くなっている。
- 演劇活動については、町外からの公演依頼が多く、意義ある活動と高く評価され、参加者の生きがいにもなっている。
- 他地区との連携も強くなり、また視察者も多い。農村女性グループ活動が評価され、地域に根付いてきている。

水上迫生活研究グループ
熊本県美里町畝野1575

Tel :0964-48-0235 Fax :同左

ぎょうとうまち

玉東町商工会

ハニーローザのブランディング化と商品開発 (ハニーローザ日本一の産地「玉東町」果物の里宣言)



展示会及び商談会の出展様子



ハニーローザの加工品開発「甘酒」



生果ギフト用パッケージロゴデザイン

取組概要

- 玉東町において農業と商工業の発展は表裏一体であると考え、商工業の維持と農業の所得向上を目的にタイアップした商品開発に取り組む。
- 玉東町で日本一の栽培面積と生産量を誇る幻のスモモ「ハニーローザ」に着目。加工品としてジャム、ドライフルーツ、甘酒を開発し、展示会等でPR。オリジナルパッケージやロゴ等も作成。
- 加工品原料(搾汁)は、町の加工センターにて1次処理できる仕組みを創設。

活動成果

- ハニーローザは痛みやすく出荷できない果実も多かったが、加工品の開発により、これを活用できるようになった。
- 展示会への出展で生果と甘酒はカタログギフトに取り扱われるようになり、知名度が向上し、町のブランド力を高めることができた。また、付加価値により販売単価も向上した。
- 加工品を全国向けにPRしたことで、需要が拡大。生産者の意欲向上につながっている。

玉東町商工会

熊本県玉名郡玉東町上木葉398-1

Tel :0968-85-2174 Fax :0968-85-2827

ま き 真木地区協議会

豊かな緑と湧水・歴史に薫る元気な里山！



田植え体験(7団体・400名が参加)



元気塾での血圧測定



交通弱者対策として試験運行

取組概要

- 水田の田植え・稲刈り体験等を通じて農村と都市圏が交流。地域全体の協力で遊休農地も解消に向かい、地域営農法人を設立し、農地の維持と集積を促進。
- 女性有志による「元気塾・ふれあいサロン」を通して、地域高齢者の健康増進や明るく楽しい生活を目指す活動を実施。
- 定期バスの運行がない地域の高齢者や、児童・生徒等交通弱者の交通手段として、地域コミュニティバスを試験運行。

活動成果

- 平成27年度から始めた事業を通して、区民が地域の良さを再確認。各事業の展開の中で区民の連携が強固になった。
- 地域の豊かな緑と豊富な地下水によって、地域とそこに暮らす住民は育まれているという自覚が更に増した。
- 少子・高齢化が急速に進展する中、当地区の住民が、いかに真木地区の良さを子どもや孫たちに発信できるかが、今後の取組の課題となる。

真木地区協議会

熊本県菊池郡大津町真木412-1

Tel :096-293-4558 Fax :096-285-1672

くまもと

株式会社 熊本玄米研究所

農村に黄金の実りを！米の消費拡大を応援します！！



玄米ペーストパン専門店「玄氣堂」



「玄氣堂」店内



玄米パスタ麺

取組概要

- 平成25年10月に設立。米ペースト及びそれを用いたパンの開発を始めた。
- 平成26年6月に玄米ペーストパン専門店「玄氣堂」をオープンし、常時80種類以上の玄米パンを販売。平成28年3月には工場を開設し、新技術で開発した玄米ペースト麺も製造。
- 原料玄米は全て熊本県産を使用し、地産地消に貢献。平成28年度は新規需要米としてパン用「ミズホチカラ」を農家15軒で。麺用「越のかおり」を10軒で。

活動成果

- 「玄氣堂」のオープン以来、約50トンの米粉用米を集荷。これまで土質が原因で主食用米を作るのに適さなかった地域でも、作りやすいと好評である。
- 「玄氣堂」の売上は年間6千万円、購入客の大半は健康への関心が高い40～60歳の女性で県外のお客様も多い。
- 玄米ペーストパスタ麺は、グルテンフリーで小麦アレルギーの方にも安心して食べて頂けるとともに、プリプリした食感が高評価を得ている。

株式会社 熊本玄米研究所
熊本県菊池郡菊陽町原水2897

Tel :096-340-5500 Fax :096-340-5511

あそなんごうひ

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会

神々が宿る木～阿蘇南郷檜～



阿蘇南郷檜の山林



テスト出品



育成技術研修会

取組概要

- 古くより郷土の宝として育てられたナンゴウヒを阿蘇南郷檜としてブランド化。材価を高めることで、林業収入を向上させ、後継者の確保など林業が活性化。
- 熊本県内外から多数の購入者が参加する「くまもと秋の銘木&選木市」において、阿蘇南郷檜の知名度の向上と新たな販路拡大を目指して、ナンゴウヒ原木をテスト出品。
- ナンゴウヒを育成する指導家を講師とし、会員を対象に研修会も開催。

活動成果

- ナンゴウヒへの取組は、林家のみならず、山林所有者や地域住民の地域資源の再発見につながり、地域林業復活の契機となっている。
- 阿蘇地域の林家や林業関係機関、行政の連携体制構築により、継続性のある需要拡大やブランド化の推進等に対し、スピード感をもって取り組んでいる。
- 阿蘇地域のみならず、熊本県下の木材市場や製材企業へ注目度が高まり、購買意欲の醸成にもつながっている。

阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会(事務局:高森町役場農林政策課農林振興係)
熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168番地 Tel:0967-62-1111(内線414) Fax:0967-62-1174

ひごむらさきブランド化研究会

阿蘇の大地に恵まれた肥後一番の旬の味



ロゴマークを使用した個別包装



企業と連携した食育ツアー（調理）



販促店舗現地状況調査

取組概要

- 熊本赤なすの新品種「ひごむらさき」の認知度を向上させるため、ホームページの立ち上げや、メディアを使ったPR、物販時にはレシピ集も配布。
- 地産地消の推進のため、県内各地で行われる物産展や農業フェア等に出展。食育では、企業と連携した収穫体験や料理教室のツアーを実施。
- 販売促進活動においては、大消費地での知名度向上を目指し、東京都での販売や販促店舗の現地状況調査を実施。

活動成果

- 取組の強化により、大消費地での新たな展開や生産者のブランド化意識の向上に繋がっている。
- イベントでの物販、収穫体験や食育ツアー、テレビ等のメディアでの取り上げ、視察や大学生の研究受入等に伴い、県内はもとより、九州各県や他地域にも「ひごむらさき」の名が浸透してきている。
- 「ひごむらさき」のブランド化を図ることにより、他の作物の生産者にも同ような意識が芽生えてきている。

事務局：高森町役場 農林政策課

熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168番地

Tel :0967-62-1111 Fax :0967-62-1174

かあ
パワフル母ちゃん

閉校校舎を活用して、地域をパワフルに！



グラウンドバザールの様子



県立大での調理実習



地域の敬老会でのひょっこり踊り

取組概要

- 平成21年3月小学校が閉校となり、これを契機に活動を開始。梅ジャム、うまかたし、柚子ごしょうを作り、薬草の商品化の研究を行う。
- 県立大とレシピづくりで地産地消を推進。イベント等で集客数の増加につながる活動や、地域の特徴を活かした加工品作り、デザイン開発を実施。
- 旧小学校を活用した定期的なカフェの開催や催事での食事を提供。地区の畑や山を調査して薬草マップを作成。

活動成果

- 高齢者サービスや旧小学校を活用した取組で協力者が多くなった。イベントへの積極的な参加により、認知度も徐々に向上してきた。
- 旧小学校を生かしたことで活動の場が広がり、5年先、10年先の地域作りを計画できるようになった。
- 地区で年2回開催しているグラウンドバザーでは地域住民総出で運営。毎回1000名程度の参加者があり、住民のやりがい生まれ活性化に繋がっている。

パワフル母ちゃん

熊本県上益城郡甲佐町小鹿358

Tel :096-234-0762 Fax : 同左

やまと
NPO法人 山都のやまんまの会

山都町の「まんま学校」



まんま学校「秋編」参加者



まんま学校「春編」菜種の種選別



山都ん よかとこ宣伝隊in福岡市

取組概要

- 子どもに焦点をあてた地域づくりを目的に活動。地域や都市の子どもたち、保護者を対象に「食」「農」「暮らしの知恵」の体験・継承と交流の場を提供するために、「山都のまんま学校」を実施。
- 農業体験(田植え、稲刈り・掛け干し)と「かまど」でのご飯炊き、収穫感謝祭&棚田ウォーク等を実施。
- 活動の中心の女性たちが、地元住民との世代間交流を進めながら、子供たちと伝統文化を継承。

活動成果

- 「生きるという原点」を次世代に伝えることや、自分の周りには学ぶべき人が沢山いることを伝えている。
- 子どもたちが能力を発揮する場を提供すること、孤独な子育て環境を解消すること、子ども自らが地域とのかかわりや役割を学ぶことを進めている。
- 地域を誇りと思う人材が育成されるとともに、地域の歴史や生業に対する認識や、子どもたち自身のいろいろな生き方への見識が深まってきている。

山都のやまんまの会事務局((株)まちづくりやべ企画事業部)

熊本県上益城郡山都町浜町239-3

Tel :0967-72-1723 Fax :0967-72-1724

みずまさり

水増ソーラーパーク管理組合

自立する集落へ ～共感を都市へ、多世代へ～



東京都市大学の枝廣ゼミ農業体験



水増ソーラーパーク管理組合の会合



集落営農 稲刈りイベント

取組概要

- 集落創生へ向けた具体的提案があったテイク社をパートナーに選定、共有地を活用しメガソーラー事業に取り組む。売電収入の5%を地域に還元。
- 小さな農業でも、農薬・化学肥料を使わない集落の営農方向を決定し、主に大豆在来種（八天狗）の拡大を目指す。加工は熊本の企業と提携し、販売マーケティングは大学と提携。
- 都市との交流イベントにより、多世代交流を推進。

活動成果

- 集落自前で営農方向を決意し、大学や地元企業と連携しながら首都圏で子ども食堂を設置。合宿やイベント会議、視察受入等も行い、「よそもの」の知恵と経験を取り入れていった。
- その結果、交流人口が集落人口の50倍に増加。特に、在来種大豆（八天狗）の目途が立ち、来年度は首都圏で販売を目指している。
- 経済に偏重しない幸せ概念や、幸せ実感の日常について、議論を深めた。

水増ソーラーパーク管理組合
熊本県上益城郡山都町島木2551

Tel :096-233-1580 Fax :096-233-1581

地域で生き抜くプロジェクト



移住モニターツアー



福岡市内のアンテナショップ



健康教室

取組概要

- 集落機能の維持存続を目指し、集落支援員制度を槻木地区に導入。
- 支援員は、移住モニターツアー、生活支援車の運行、アンテナショップ、ネット販売、近隣地区との交流事業、地元集落座談会や健康教室の開催、伝統芸能への参加、消防団員活動、環境美化運動等を通じて地区を活発化。
- 移住定住や住環境の整備、各種施設の整備、産業おこし・ネットワークの構築等の具体的な計画(H27～H31)を策定。

活動成果

- 集落支援員の導入や槻木小学校の再開を契機に、農産物等の生産・販売、槻木小学校行事への住民の参加、老人会活動など、様々な面において地域に活気が出てきている。
- 今年4月には、山村活性化支援交付金を活用し、地元の農林産物を利用した商品開発の組織を立ち上げた。
- 今年7月には、新たな移住者も来るなど、着実にその効果は出てきている。

多良木町役場 企画観光課

熊本県球磨郡多良木町大字多良木1648番地 Tel :0966-42-1257 Fax :0966-42-2293

国産材品質表示推進協議会SSDプロジェクト

大径木活用商品の開発・販売による地域貢献



丸太状熱処理併用複合乾燥釜



準防火地域内でのサーモ材外層仕上げ



居宅内でのSSD杉材活用状況

取組概要

- 大径木は、大きすぎてオートメーションの製材ラインに乗らないため売れなくなっており、これが最近の林家収入を下げている原因のひとつ。
- SSDプロジェクト新規開発技術の「丸太状熱処理併用複合乾燥法と芯去り製材手法」は、この大径木丸太を有効活用するために開発。
- これらの技術は、平成25年度の農商工連携事業の認定を受けており、球磨杉・桧製材品のブランド化を推進。

活動成果

- 球磨杉・桧製材品の普及・販売促進に努めた結果、販売量・販売額は急速に増加。熊本県湯前町・水上村で多くの雇用が生まれた。
- 本年6月に大阪市で開催された建設資材展示会に出展したところ、ビルダーなど需要者から大きな反響を得た。
- 今後これら製品の需要増加に伴い、地元でのさらなる雇用や、高付加価値商品の販売による原木買取量の増加が期待できる状況である。

SSDプロジェクト・(株)紅中
大阪府大阪市浪速区幸町3-5-24

Tel :06-6568-0341 Fax :06-6568-0395

このみぞ

幸野溝土地改良区

日本遺産の里「水土里豊かな幸野溝で学ぶ！」



田んぼの学校



森林の学校



グリーンツーリズム カヌー下り

取組概要

- 田んぼの学校は、土地改良施設の見学・学習を行いながら、農作業体験を通じ、農業への理解や食育、農業用水について、親子で学んでもらう活動。
- 森林の学校は、地域の大人や子供たちが、水源林についての勉強会や植林活動等の体験学習会に参加し、「農業用水」と「水源林」の関わりについて理解を深めてもらう活動。
- 土地改良施設を有効活用し、カヌーやボートでの水路下り、隧道体験を実施。

活動成果

- 水土里ネットの活動を次世代を担う子供たちに知ってもらうべく、普段体験することの少ない農林業体験をしてもらうことで、自然・農業の大切さ、水土里ネットの役割を周知することができた。
- 子供たちは「農業はおもしろそう、楽しそう」等、農業に対する意識の変化や、さらなる理解も深めてきており、リピーターも増加している。
- 地域活性化につながり、農業に対する応援の輪が広がってきている。

幸野溝土地改良区

熊本県球磨郡湯前町2065番地

Tel :0966-43-2062 Fax :0966-43-7155

田舎の体験交流館さんがうら運営委員会

地域資源の活用やボランティアを取り込んだグリーン・ツーリズム
（「日本で最も美しい村」の自然と景観等を活かした美しいむらづくり）



眼下に松谷棚田を望む「田舎の体験交流館さんがうら」



花いっぱいボランティア運動



棚田での稲刈りと掛け干し体験

取組概要

- 平成23年4月、廃校となる小学校を都市農村交流拠点施設として改修し、当運営委員会を設立。
- 大学と連携し、地域資源の調査とそのマップ等を作成。モニターツアーの実施とPR動画の製作も行う。
- 平成26年度は、新たな自然環境や地域資源を活かし、子供も楽しめる多彩な体験メニューを開発。平成27年度は、「そば」を活用した体験ツアーや、女性による加工品等を開発。

活動成果

- 田舎体験メニューにより、都市住民に癒しを提供している。さらに散策ルートの開発を行い、集客増と滞在時間の確保につながっている。
- 地域住民との協働により、拠点施設「さんがうら」を集落が連携して守り、運営する機運が醸成されてきた。
- 高齢者の所得向上と女性活躍の場の提供となった。その結果、交流人口や売上の増加につながり、地域活力向上と住民の生きがいとなっている。

ちゅうさんかんまつお

中山間松尾集落

遠山桜の再生と松尾集落の生き残り戦略



集落の象徴である「天空に咲く遠山桜」



地元で加工したわらびの酢漬け



有害鳥獣防止柵設置状況

取組概要

- 一本桜として知名度の高い「天空に咲く遠山桜」の生育障害が発生したため、基金を創設し治療を継続。栗の収穫体験ツアー、大学生とのフィールドワーク等も実施。
- ワラビの酢漬けの加工場を建設。付加価値向上に向けた商品開発と販路拡大活動を、町と共同で実施。
- 鳥獣被害防止のため、6.5kmの防止柵の設置や環境整備で、イノシシの被害がゼロに。

活動成果

- 有害鳥獣の研修来訪者の増加に伴い、ワラビの酢漬けが購入されるなど、地域経済に波及効果。栗の収穫体験ツアーや大学生とのフィールドワークにより、リピーターが増加している。
- ワラビ加工・販売により、高齢者の生産意欲の増進と結束力の強化に繋がった。
- 防止柵設置等により、鳥獣害の被害が無くなり、集落住民の生産意欲が高まり限界集落に歯止めがかかっている。

中山間松尾集落

熊本県球磨郡あさぎり町須恵7512-19

Tel :0966-45-5169 Fax :同左

みどりの会

てんじく 天草に天竺がある



ツツジ祭り時の山頂を訪れる見物客



天竺を目指しスタートする登山客



会員による山や道路の手入れ

取組概要

- 「天竺」(下天草で最高峰)の山を地域の宝として活性化を目指し、平成15年の秋に初の登山会を実施。翌年から山頂一帯にツツジを植栽し、地元で親しんでいただける公園づくりを目指した。
- ツツジが咲き誇るゴールデンウィーク時には、「天竺ツツジ祭り」を開催。
- 秋の紅葉時には「天竺天の川西遊記登山」と銘打ち、閉校した小学校跡地から山頂までの健康登山を継続して実施。

活動成果

- イベント等を実施することにより、地区外からの流入による賑わいが見られ、地域全体に活気がみなぎってきた。
- イベントの際には、地元物産の販売を呼びかけ、これも定着しつつある。
- 継続して実施してきたことにより、知名度が高まり、地区住民はその成果を実感できるようになってきた。

みどりの会

熊本県天草郡苓北町都呂々5174-6

Tel :0969-36-0576